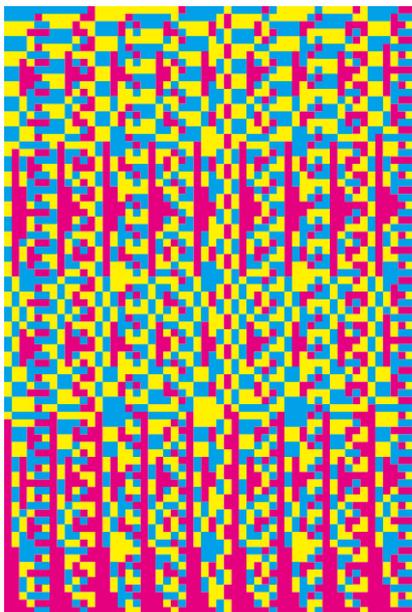


中ザワヒデキ展

脳で見るアート



灰色絵画 #4(シアン、マゼンタ、イエローによる) 2005年
油性溶剤デジタルプリント、合成樹脂、アルミフレーム
府中市美術館蔵



アナグリフの穴・右壁 1993年
デジタルプリント
Courtesy Gallery Cellar



三五目三五路の盤上布石絵画第一番 1999年
アクリル基盤、基石 黒川未来夫撮影
Courtesy Gallery Cellar



セル(ローズ・ウルトラマリン・イエロー、5) 2008年
油彩、カンバス
Courtesy Gallery Cellar

中ザワヒデキといえば、美術の根本を問い新たな表現のかたちを提示し続ける現代美術家として、その名を知る人も多いでしょう。しかし、その作品の典型を即座に思い浮かべられる人はそう多くないのかもしれない。というよりも、中ザワといえばこれだというような、ひとつの典型をみだすことが極めて困難というべきでしょうか。中ザワの芸術遍歴はその展開の目まぐるしさのあまり、ひとつの固定イメージが一般に浸透するひまありません。であればこそ改めて作品を辿ってみれば、制作活動の多彩ぶりに改めて驚かされることでしょう。中ザワは医学部出身で眼科医局勤務経験ありという異色の経歴の持ち主でもあります。そこで培われた理系知識を発揮した〈バカCG〉やく方法絵画〉、〈脳波ドローイング〉など、コンセプチュアルアートの世界で新たな手法を切り開いていくイメージが強くもありますが、油彩画やアクリル画など既存のジャンルにおいても、ジョークを効かせたカラフルでポップな作品を数多く制作しています。

本展覧会では、脳の知覚作用や視覚生理を切り口とした作品を中心にピックアップし、中ザワが追究する方法理論に裏打ちされた、独自の現代アートの世界を紹介します。鑑賞における視覚の意義を強く再認識させるその作品の多くは、観る者の視覚を刺激し、さらに作用を及ぼす脳の内で紐解かれて初めて完成されます。素通りを許さず、一目では解せず、多角的な見方を与えない、言ってしまうと一方的なこの作品ひとつひとつと対峙し、それらが持つ理論の読解に挑むことは、観ることの意味を今一度考える好機となるでしょう。

中ザワヒデキ音楽作品コンサート

ピアノ：高橋悠治 声：sei (from ju sei)、河野丹、田中淳一郎
中ザワヒデキが作曲した《方法音楽》が、ピアノで、声で演奏されます。

2012年12月8日(土) 午後3時~4時

- ・定員：90名(要予約・先着順)入場無料ですが美術館入館券が必要です。
- ・申込方法：2012年11月17日(土)よりお電話または美術館窓口で直接申し込み

対談

「〈脳波ドローイング〉の生まれた日」

中ザワヒデキ×神山亮子(府中市美術館学芸員)

2013年1月26日(土) 午後2時~3時30分

「中ザワヒデキの美術」

中ザワヒデキ×石井香絵(早稲田大学博士課程)

2013年2月16日(土) 午後2時~3時30分

- ・定員：各90名(要予約・先着順)入場無料ですが美術館入館券が必要です。
- ・申込方法：2012年11月17日(土)よりお電話または美術館窓口で直接申し込み

作家による新作設置

展示室内において、中ザワヒデキ本人が「盤上布石絵画」の配置換えを行います。

2013年1月20日(日)、2月10日(日) 午後2時~

申込み不要、見学自由ですが、美術館入館券が必要です。

武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-8-16
FFビル(コピス吉祥寺A館)7階
Tel: 0422-22-0385 Fax: 0422-22-0386
http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/



【交通案内】
JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺駅」下車徒歩約3分
美術館専用の駐車場はありません